



共創促進研究「学術知デジタルライブラリの構築(X-DiPLAS)」

プロジェクト公募

申請期限
令和6年
6.5【水】

日本の研究者が世界各地で調査するさいに撮影した写真や動画などの画像資料は、調査当時の実態を記録した研究資源であると同時に、日本の学術史を反映する学術遺産でもあります。

この事業は、世界諸地域を対象とした研究プロジェクト（原則として、過去に公的機関または民間による助成を受けた実績のあるものにかぎる、すでに終了しているプロジェクトも含む）の代表者・研究分担者を対象に、これまでに蓄積された画像資料のデジタル化・データベース化を支援し、将来にわたる研究情報の集積と共有化の基盤を整備して提供するものです。

この事業の実施にあたって、広く公募をおこないます。採択された公募プロジェクトに対しては、写真・映像資料の整理、デジタル化とデータベース化を進め、さらには画像内容に関わるテキスト情報の入力への支援もおこなうことで、研究に活用できるデジタルデータのプラットフォームを作成して提供します。また、公開可能な画像については、国際的な共有化をはかり、分野の別を超えたオープンサイエンスの基盤を構築していきます。皆さまの応募をお待ち申し上げます。

X-DiPLAS拠点代表 飯田 卓
(国立民族学博物館・研究部)

この事業の目的は、**世界諸地域を対象とした研究プロジェクトにおいて蓄積された画像資料のデジタル化・データベース化を支援し、研究の格段の進展を促すことにあります。**

公募プロジェクトに対する支援内容

採択されたプロジェクトの代表者が所有・保管または活用の依頼を受けている写真資料に対して、利用許諾に関する手続きを行ったうえで、デジタル化・データベース化を進め、AI（画像内容の自動認識機能等）も活用しつつ、地域研究に有用な基本情報（テキスト）を付加して返却します。このデータベースは逐次、情報を付加・充実できる仕様とし、支援期間の終了後も継続的に学術研究の展開に活用できるものとします。

応募資格

原則として、**これまでに公的機関または民間による助成を受けた実績のある研究プロジェクト**の研究代表者、および研究分担者（ただし研究代表者の承諾を得ていること）。応募資格の詳細につきましては公募要領をご確認ください。

対象となる資料

支援を受ける研究プロジェクトの研究代表者または研究分担者が自身で撮影した写真資料、または、撮影者や著作権者から所有・保管または活用の依頼を受けている写真資料（ガラス乾板、ネガ、ポジ、デジタル画像。プリントは除く）。撮影者が特定できるものに限り。なお、写真資料はデジタル化作業後に返却します。

研究支援期間と支援件数

採択された年度の末までの単年度。年度内に、データベースを提供します。令和6年度の支援件数は5件程度。いずれの категорияにおいても、写真資料の点数は原則として5,000点以下とします。

申請の手続き

【応募書類】

申請は、所定の様式による申請書を提出してください。申請書は、X-DiPLASウェブサイトからダウンロードできます。

https://www.r.minpaku.ac.jp/x-diplas/call_for_projects.html

申請書には、研究プロジェクト（複数ある場合、対象となる写真にもっとも関連が深い1件のみ）が助成を受けたときの研究計画調書の写しを添付してください。また、コレクションの内容が分かるような**画像サンプルを少なくとも1点添付**してください。

【申請期限】

令和6年6月5日（水）までに申請書と計画調書の写し、画像サンプルを提出してください。（郵送の場合は必着、メールの場合は16時30分までに送信してください）

【提出先および問い合わせ先】

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1
国立民族学博物館研究協力課共同利用係
Tel：06-6878-8347
E-mail：kikourenkei@minpaku.ac.jp

【スケジュール】

申請期限：令和6年6月5日（水）

- X-DiPLASプラットフォーム委員会において採択課題を決定
- 採択決定：令和6年6月末
- 採択されたプロジェクトの代表者に対するワークショップ：
令和6年7月上旬に開催予定
- 写真資料のデジタル化・データベース化作業
- 成果の報告と情報の共有化に関わる会合：年度末に開催予定



公募については、X-DiPLASウェブサイト、詳しい内容を記載しています。ウェブサイトもご確認ください。

ウェブサイト
QRコード



人間文化研究機構 共創先導プロジェクト（共創促進研究）
「学術知デジタルライブラリの構築」
国立民族学博物館拠点（X-DiPLAS）